

2025 年度東海・北陸地区栄養士会長会議報告

議題 1：効率的な研修会の開催・事務局運営について(三重県)

三重県では研修会（生涯単位付与）の研修会は現在無料にしている。研修会の知らせも現在は紙にて郵送していることもあり郵送料の値上がり・会場費・講師謝礼（交通費）等の値上がりもあり検討課題である。また事務体制も人数が減り会員管理等掛け持ちして業務をこなしている。特に公益経理業務は難しく時間がかかりさらに苦慮している。

【石川県】

- ・生涯研修については、年間の予定について研修委員会を担当する理事が検討し、理事会で報告している。その他、職域部会（7 部会）、支部会（3 支部）で決定している研修については、合同開催することもある。職域や支部を限定せずに会報などの郵送の際にチラシを同封して募集を募っている。

【福井県】

- ・生涯教育研修会は有料で実施している。案内も現在は郵送であり、係る費用負担は大きい。今年度は、会場費の削減を図っている。

【岐阜県】

- ・各事業部で開催する一部の研修会を県からの受託事業内で開催し会場費・講師謝礼費に当てている。
- ・研修会の開催は HP や E メールで告知を行い、書類の郵送は極力減らしている。
- ・事業部によって「協力委員」を設けており、研修会の運営（会計報告も含む）を執り行なっている。
- ・年度毎に行なっている「予算検討委員会」で各事業部の研修会の予定をテーマにより統合し会場費や講師謝礼金を節減している。
- ・研修会の打合わせなど、オンラインアプリが利用できる場合は積極的に利用を進めている。

【愛知県】

- ・コロナ禍の研修会はオンラインを中心にして、会員の退会を防ぐために収入減を覚悟の上で研修会費を無料にしてきた。コロナ禍が明け、昨年度は研修会費を「500 円以上」として集金していたが、今年度から「千円以上」の研修会費を徴収するようにした。研修会費は生涯単位付与の研修会も一律の徴収をしている。
- ・本会では、令和 4 年度から会員あての定期郵送はそれまでの年 5 回を年 4 回としており、その発送でチラシや会報を配布している。昨年度からは一斉メール（日栄登録アドレス）を利用して案内を行っている。・日栄の新研修登録システムへの切り替えなど、課題もある。

【静岡県】

- ・静岡県では研修会（生涯単位付与）の研修会は現在無料。食材等かかる研修会の実費負担。
- ・郵送料の値上げもあり、紙ベースでの案内は総会の案内の送付の時のみとしている。そのため研修会は前年度の 12 月までには事業実施計画を作成し、研修部にて一覧表にまとめ総会資料と共に郵送。研修会の詳細については、ホームページに掲載としている。研修会案内は一覧表にて毎月ホームページにて更新、月別に研修会案内を掲載、申し込みができるようホームページを更新。
- ・公益経理業務については会計事務所に予算書・決算書等の書類作成を依頼しているが、栄養士会全体の執行状況管理、予算書検討を担当している。委託事業の内容変化で、事務作業が多くなり、事務局が関わる部分が増えている。また栄養ケア・ステーション事業は、多職種だけでなく市民からの栄養相談の電話など対応がふえている。

【富山県】

- ・研修会は生涯教育を中心としているので、集約されていて効率的と思われる。今年度は、さらに開催日数を 3 日に集約しているので、忙しい会員も、研修会参加の管理がしやすい。また、運営側も余裕持って準備ができている。
- ・開催日数が少ないので、スタッフも調整しやすく負担も少ない。
- ・配布資料の印刷は参加者各自で行うことで作業時間短縮。
- ・講師依頼文等は、可能な限りメールに添付することで郵送料削減。
- ・研修会は、日栄の演習（特に医療系）の開催月も考慮し、日程調整を行う。
- ・栄養士会 LINE、HP と併せて迅速に研修会等の開催案内を伝える。
- ・研修会開催は、毎月だと開催中であっても、次以降の準備が必要なため、業務が煩雑だった。日程の間隔を空けて該当日程のことを集中的に準備している。今後は manaable を活用し事務作業軽減を図りたい。

議題 2：次世代を担う子どもと産み育てる女性、また、妊娠期における栄養や食事に関することなど、今後の具体的な方向性や政策が各県であるのか教えていただきたい（福井県）
 福井県栄養士会として、こういったことに取り組んでいきたいという意向があり、研修会などには盛り込んでいるが、実際に県の政策などからは何もみえてこない現状である。

【石川県】

- ・県では、国の「21世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本21）」を踏まえ、令和6年8月に「いしかわ健康フロンティア戦略2024」を策定しており、若い女性の健康に関する施策の目標として「妊娠中の喫煙をなくす」、「多量飲酒者の減少」、「若年女性のやせの減少」について数値目標を設定している。

【岐阜県】

- ・現時点では、それらに特化した活動は、岐阜県と岐阜県栄養士会とにもない。
- ・小児に対する食育活動などは、コロナで少し減退したが、継続をしている。

【三重県】

- ・三重県では特に県の政策には上がっていない。

【愛知県】

- ・国のこども家庭庁の設置に合わせ、令和5年度から本会内に「ADA子どもプロジェクト」をチームとして設置して、どの職域からでも小児に関する様々なデータや情報を提供する先を案内できる体制を整備している。
- ・小児や妊婦に対する栄養や食事に関する本会が関われる施策については、愛知県からの相談等はない。
 本会を所管する県の担当では健康づくりを主事業としており、小児や妊婦等については他局・他部署が担当している。さらにそれらのところには栄養担当（または栄養士等の）職員の配置がなく、県庁内での十分な横連携が取れてないことも理由の一つと推察している。

【静岡県】

- ・毎年栄養士会総会にて、県の健康増進課長より県の方針や政策、課題について栄養士関連の課題等や取り組みについて講演（20分～30分程度）をいただくこととしている。また県の会議等での内容からも代表理事が参画している中で、方向性も聞くことができていると思われる。政策を推進するために健康増進課からの委託事業と、栄養ケア・ステーションへの依頼等があり、現段階での県の課題等に栄養士会としても協力していく必要があると思われる。
- 一方、子供・妊娠期世代に特化した事業は十分にできていない。

【富山県】

- ・県では、富山県健康増進計画（第3次）で「女性のやせの減少」を目標に掲げており、ボランティア団体と連携したライフステージごとの食生活改善の普及啓発を行っている。また、市町村と連携したプレ妊活健診事業を実施しており、健診結果時に栄養指導や、適正体重の維持・葉酸摂取等の栄養に関する普及啓発を行っている。国は今年5月にプレコンセプションケア推進5か年計画を策定しており、健康管理（栄養面含む）についてより具体的な指針や事例を示すとされている。これらの国の動きも踏まえながら更なるプレコンセプションケアの推進を検討していきたい。
- ・県栄養士会では、この政策に特化した活動は行っていないので、今後とも情報を共有して活動を模索していきたい。

【参考】事務局体制

	事務局職員数		業務日	会員数	備 考
	常 勤	非常勤			
石川県	1	0	平日	539	
福井県	0	3	月火木金	530	
岐阜県	2	0	平日	729	
三重県	4	3	月火水金	558	
愛知県	3	2	平日	2,177	
静岡県	3	1	平日	1,330	
富山県	0	2	平日	574	